

劇団1980公演

原作 結城亮一
脚本 藤田傳
演出 関矢幸雄

素劇 あゝ東京行進曲

すげき

昔恋しい銀座の柳——
日本のレコード歌謡の草創期、
「東京行進曲」の大ヒットで一世を風靡した
歌手・佐藤千夜子。
波瀾に満ちた生涯を編年体で綴りながら、
昭和という時代を活写した「素劇」ならではの舞台。



1月23日(日) ロゼシアター
開場 18:00 開演 18:30 中ホール

◇ 他団体の例会日程 ◇

静岡・清水 1月21日(金) 18:30
(静岡市民文化会館) 1月22日(土) 13:00

沼津・伊豆 1月20日(木) 13:30
(三島市民文化会館)

他団体での観劇を希望される方は、事務局までご連絡ください。

〈素劇〉何もないから高まる想像力

黒い箱と黒い衣装,そして白いロープの不思議な効果



原作	結城亮一
脚本	藤田 傳
演出	関矢幸雄
監修	花輪充
演出補	河本瑞貴
舞台監督	泉泰至
照明	増子顕一 (sLs)
音響	齋藤美佐男
衣裳	佐々波雅子
歌唱指導	平岩佐和子
写真	宮内勝

素劇 あゝ東京行進曲

上演時間
2 時間
休憩なし

日本のレコード歌謡の草創期ともいふべき昭和の初頭—日本のレコード歌手第一号として輝かしい脚光を浴び、「波浮の港」「東京行進曲」「紅屋の娘」など数々の大ヒットで一世を風靡した歌姫・佐藤千夜子。彼女の一代記ともいふべき結城亮一の小説『あゝ東京行進曲』を藤田傳が脚色。明治から大正、そして昭和という激動の時代を駆け抜けた一人の女性の生涯を編年体で綴りながら、急激に移ろっていたニッポンを描き出していきます。

演出は関矢幸雄。“素劇（すげき）”は、関矢幸雄が提唱した独自の表現様式です。日本の伝統的な表現様式「見立て」をヒントに、素朴・単純にして、より深い意図をあらわす表現の追究の中から生みだされたのが“素劇”なのです。この作品では、21個の黒箱と数本の白いロープを俳優たち自身が操りながら、時に肉体そのものも舞台装置にしながらかつと場面を構築していきます。激動の昭和の移ろいは、シンプルで自由自在な“素劇”によって表現され、観客の想像力を喚起しながら、黒一色の舞台空間に色鮮やかな場面を創り出します。

また、全編にちりばめられた懐かしの流行歌も、俳優たちのオールアカペラ、口三味線。カラオケなどなかった頃、日本人はどんな思いを歌声に込めたのでしょうか。千夜子の生きざまとともに、同時代を生きた人々の心の“息吹”を呼び起こしていきます。

素劇 あゝ東京行進曲 出演者



柴田義之



藤川一步



山本隆世



上野裕子



神原弘之



木之村達也



大田怜治



光木麻美



溝口敦士



久保恒雄



山崎雄介



三浦伸子



栗栖裕之



坂本健



水井ちあき



橘あんり

演出 関矢幸雄

1926 年生まれ。舞踊家として創造活動を開始し、創作舞踊『地霊』、『黒い沼』、『山ふところ』で高松宮賞、文部大臣賞、芸術選奨を受賞。東宝で日本初演のミュージカルのステージングを担い、『マイフェアレディ』『屋根の上のバイオリン弾き』などを手掛けた。その後児童演劇の世界に移り『ぼくらのロングマーチ』(芸術祭優秀賞)、『西遊記』(児童福祉文化賞)など、児童演劇界に新風を吹き込む優れた舞台を次々と創作。

その演劇芸術追求の中で編み出されたのが“素劇様式”であり、国内はもとより、カナダ、中国、韓国、ブラジルなどでも上演され、文化・言語・民族の垣根を超えた人間普遍のドラマとして絶賛され、世界的評価を得た。93 年『素劇 あゝ東京行進曲』で第 1 回読売演劇大賞演出家部門優秀賞。91 年春に紫綬褒章、96 年に勲三等旭日小賞を叙勲した。

2021 年 3 月死去、享年 95 歳。

●素劇(すげき)

美術・衣裳を一切排除し、黒箱と白いロープと人間の体だけですべてを表現する舞台。演出の関矢幸雄氏が創始したもの。観客の想像力によって豪華なセットに勝る豊かなイメージが作り出されることでしょう

●劇団1980

「イチキュウハチマル」と呼びます。その名のとおりに 1980 年に横浜放送映画専門学院を母体に結成。主宰者であり作家・演出家である藤田傳の作品を中心に「日本と日本人」にこだわった作品を上演し続けています。

また若手俳優陣を中心とする劇団アトリエでの実験的創作など、さまざまな形態で舞台作品を発表しながら、ハチマル的オリジナリティと演劇表現のさらなる可能性を追求し続けています。

『萩咲く頃に』感想

シリアスな内容でしたが、言葉が心に刺さる作品でした。全体のやり取りやちよつとした間で気持ちが伝わりました。場面が変わるさりげなさもよかったです。

大和田さん、音無さん、さすがベテラン!!

妻が涙ぐむ場面、夫が腰につけたタオル投げ渡す、夫婦の何気ないさらつとした仕草良かったです。子どもに期待するのは当たり前のこと。気持ちの優しい子には負担に……。それを見ている兄弟は、学んで上手に立ち回り……。みんな心は優しく、思いやりがあるのに言葉にうまく言い表せない。この家族はみんな真面目なのです。

席が後方のため、自分を集中させて鑑賞した。見終わった後の心の充実感が生きる糧となる。

家族の絆、愛、満載の舞台でした。セリフ一言一言が、心に刻まれました。舞台装置もリアルで、まるで現実の(画)に吸い込まれそうでした。芝居愛いっぱい演劇に、涙とほっこり感が満ちていて、理想的な家族像でありました。素晴らしい舞台、ありがとうございます。

人の大切な時間、無駄はないのだ。成長していく、嬉しいことですネ。家族は大切です。久々に心に届きました。親の思い、子供の成長、温かく感じました。

地震、車椅子、じっちゃんとか、結びつきがよくわからなかった。セリフの聞きずらいところがあつて、家族の絆の舞台に入り込めなかつた。LGBT、引きこもり、社会的問題に関心はあるが年寄りには理解しがたい。

家族の在り方、子育ての難しさ、実際にあり得ることに、身につまされました。とても感動しました。震災を乗り越え、現実に向き合う家族が分かりあえたことが、よかつたです。よき理解者が現れるのも気持ちの在り方だと思えます。ありがとうございます。

深刻なテーマを明るく演じるドラマ、向田邦子さん、橋田寿賀子さんの良質のドラマを見ているようでした。楽しかったです。(拍手！)

親の思いと子供の思いとすれ違いはよくあることと思います。その中で家族の話し合いの場をもつて、温かい方向に気づけてとても感動しました。

明るく、ほのぼのとした心温まる作品でした。厳しい環境にあつても希望を捨てないで生きる大切さを、十分に感じる事ができ、力をいただきました。

運営担当の声感想

涙もろいので、マスクが涙でビショビショ。親の気持ちも息子の気持ちも、そして妹の気持ちもよくわかります。息子が暴力に走らなかつたことが救いだつたのか。かえつてかわいそうだったのか。

(内に内にと自分を追い込んでしまつて…)周囲の人は「本人が一番苦しいのだ、自分の苦しみをその人のせいにしてはいけな」と思いました。過去の場面との違いがすぐにはわかりにくかつたです。音が鈴の音みたいだつた。照明を単に落とすのではなく、夕方になつたのか現実の場面が変わるのか間違えやすいので、色を青っぽくするとかもつと変化を大きくした方が良かったと思えました。

(こぶ茶の会)

見るのを楽しみにしていた舞台でした。「大ホールではどうか？」と、少し心配でしたがやはりトーンダウンする、肝心なところが聞き取れません。笑いの場面

も前の方の観客の笑い声でした。一部セリフが聞き取れないのは残念でしたが、俳優さんたちの熱演を十分感じました。現代は引きこもりの人が多くいるようです。

現実に直結したよい舞台を見せたいと思いました。私たちは引きこもりの人は「少し甘えがあるのでは？」と思いがちで、妹の千秋が代弁者になつていたような気がしました。引き籠っている人も家族も大変苦しんでいる事をこの舞台で知り得ることができました。あの時もう少し相手の心を想い、やさしい言葉を交わしていたら場がもっと変わっていたかも、私自身にも言えること。愛情いっぱい母の「おはぎ」家族の最高のお菓子でした。(富士子)ベテラン俳優のやり取りの演技が良かったです。特に、引きこもりの息子役の西尾友樹さんの迫力ある演技が素晴らしかった。これからの活躍を楽しみにしていきたいと思いました。萩の咲く彼岸には、母が我が家の甘いおはぎを作つて久しぶりの再会を果たします。震災をきっかけにバラバラになつた家族が、絆を確かめ合つていくシーンでは客席から笑

いや拍手が上がり和やかな雰囲気
気に包まれ、楽しく鑑賞できまし
た。次回からの中ホール例会を楽
しみにしています。(DEMO)

家族の絆を物語にした内容であ
るのには理解したが、不満足な気持
ちになったのはなぜか？帰りの
車中で感想会が始まりました。ま
ず、役者の声が聞きとりにくい。
8列目でも何回か耳を澄まして
も聞き取れずでした。残念!!そ
して何年かたった時間の流れが
分かりにくい、衣装の変化もなく
理解しにくかった。効果音にして
も耳につく音でした。ぼた餅のお
いしさはたいへんよく伝わって
きましたけどね。(ドン)

家族の絆、どんな時でも、家族を
信じて、見守ることの大切さを教
えていただきました。(蓼の会)

ややもすると、親の考え方が先行
して、子供の個性に気づかなかっ
たり、引き出したりできないで、
子育てを終わってしまいます。親の
心、子の心。私の娘も五年音信不
通です。この家族の様に、心通い
合う日が来るといいなあと思い
ながら見ました。とても良いお芝
居でした。(同級生)

「親思う心にまさる親心 けふ
の音ずれなんとときくらん」ふと思
い出しました。親が子供に期待し、
それに応えようと努力する子供。
ふとしたことで、歯車が狂いそれ
を取り戻そうとお互いを思い合
う気持ち。いつの時代でも変わら
ない親子の関係です。今の不安な
世の中で家族の大切さを改めて
考えさせられました。今日観劇す
ることができましたことに感謝
です。(丸啓)

家族の絆を深く考えさせられる
お芝居でした。東北の震災直後の
一つの家族の話でした。父と息子
の関係、「わが子にこうなつてほ
しい」と思う親の気持ち、それに
応えようと必死に頑張る息子、や
がて本心を語り合うことなくギ
クシヤクした関係になり、いろん
なことを乗り越え、経験して自分
の正直な気持ちに向き合い、長い
間言えなかった言葉を口にして、
かたくなに閉じていた互いの胸
の内がやがて少しづつほぐれて
いる様子が感じられ、とても素敵
なお芝居でした。大和田さん、音
無さんの演技、とてもよかったです。
途中から涙を流しながら観さ
せてもらい、自分の子育てはどん

なだつただろうか？と、最後まで
そんなことを考えさせられる公
演でした。感動をありがとう!!感
謝の気持ちでいっぱいです。素晴
らしいお芝居を届けてくださつ
た劇団の皆さんに拍手を送りま
す。(あじさい2)

運営サークル活動に参加して

会員を増やすのに、年下の知人が
定年退職したのでチャンスと。

「劇はあんまり…」の返事にがっ
かり。でも奮起してそのあと二人
の元気者の年上の方に声をかけ
たが「夜は出たくない」等々。運
営担当であるのに会員を増やせ
なかつたのが心苦しい。でも、開
演前のロビーでの劇団の方の挨拶。
私たちに『会員を増やせなく
ても舞台劇は楽しいよ』と、他の
人に楽しさを語れることが良い
こと」と。運営担当になると、勧
誘しなければとつい肩に力
が入ってしまうけれど、まずは観
る楽しさを伝えることが大事と、
再認識しました。今回クリアでき
ませんでした。お誘いの活動は
続けようと思います。(富士子)

朝早くの搬入でしたが、畳、テー
ブルや椅子、柱、襖など運びまし
た。どのように組み立てて、夕方

のステージになるのかなと、楽し
みになりました。(蓼の会)

今回もお誘いはしましたが、よい
返事をいただけませんでした。携
帯電話の電源OFF周知をしつ
かりやりました。会員の皆さんも
入場前に携帯の電源を確認して
気を付けてくださいました。が、
残念ながら一名の携帯電話が鳴
ってしまいました。本当に残念で
す。次回以降は絶対にならないよう
お願いしたいです。(DEMO)

今回初めて運営サークルに参加
しました。皆さんベテランの方は
かりで進行もスムーズに進み、各
サークルのメンバーさんの話も
聞けて良かったです。アンケート
の集約を担当しましたが、アートの
キャラバンのアンケートは皆さ
んかなり協力してくれたと思ひ
ます。(同級生)

顔なじみの俳優さんということ
もあり、迎える喜びのようなもの
を感じながら運営サークル会
他のグループとの交流、ポスター
作り等の作業を楽しみながら参
加できました。当日は受け付けを
担当しました。雨の中でしたので
私も含め、皆さん車で来るのが大
変だったと思います。(あじさい2)

前回、例会になった「百枚目の写真」が素晴らしかったトムプロジェクトさんが、音無美紀子さんと大和田獏さんと一緒に来てくれます。タイトルは「萩咲く頃に」、何やら前回同様自然な流れの中にも深いテーマが隠されていて、いい感じのタイトルです。作・演出も前回同様ふたくちつよしさんです。東北大地震がテーマとの事ですが、いったいどんな舞台なのか期待は膨らむばかりでした。

さて、作品は期待が持てるし、皆さんが知っている役者さんも来る、しかも既に何人かの入会希望者がいるとの情報もあり、明るい感じで始まった運営サークルでした。そろそろあの思まわしいコロナも下火になってきたのでここは確実にクリア、そして更に上積みを図りたいと意欲も高まります。サークル会では司会を当日の出席者の中から希望者が担当しました。身近のコロナ情勢、サークルの様子などを含め自己紹介をしてみたいです。サークルの活動期間も2カ月以上あり頑張っていることと約束しました。

二回目の運営サークルまでは順調に新入会がありました。ただ、大ホールでセリフが聞こえなかったという話が出て対策が必要かもしれません。早く中ホールに戻りたいものです。ロゼシアター

は優良ホール百選にも選ばれているのですがなかなか難しいところです。

二回目の会合以降あまり新入会がありません。入会が事前に期待されていた人たちも事情で今回は見合わせの人が出ています。「アートキャラバン」についての説明もしました。この企画は劇団が文化庁のアートキャラバンに参加し、鑑賞会も演劇文化を支える仲間として支援に動いてくれたわけです。この熱い気持ちに伝えるよう、まだ例会まで一カ月あるので最後まで粘り強く活動しようと呼びかけました。

しかし、新入会の数字が全く伸びません。どうしたことでしょう。折角の作品なのに残念です。もうひと頑張りと思うのですが結果が出ません。最終的には退会13名、入会6名(そのうち担当サークル12サークル中2サークル2名の入会)でした。やはりまだまだコロナの影響があったのでしょうか。状況にめげず粘り強い取り組みができなかったことが悔やまれます。

まとめの会ではやはり大ホールは聞こえないとの声が出ました。素晴らしい作品で舞台袖にマイクも仕込んであったのに残念でした。やはり場所によって反響が重なりすぎるからでしょうか。ふたくちさんらしいさりげない家庭の情景の中に重い問題を仕込んだ

素晴らしい作品で現代の病理に挑んだ意欲作でした。音無さんの泣くタイミング、泣き方。大和田さんの役づくり、家族の雰囲気絶妙に映し出す会話のテンポ。壊れそうな家庭の再生、今身近だからこそ難しいテーマ。もっと多くの人に見てほしいと思います。



サークル数	70
サークル増	0
サークル減	1
±	-1
会員総数	426
入会	6(1.3%)
退会	13(3.0%)
±	-7
例会参加率	84.70%

運営担当サークル	エミの会	だぼはげ	アンジュ	吉原工業	レモン
	Young Moon	かりがね	さくらんぼ	Cherry Hill	茶色の小びん
	S-1	まゆみルン	日々是好日	オレンジ会	カメラア

運営担当サークルの皆さんお疲れさまでした

次例会のおしらせ

No.274 例会

2022年 4月22日(金)

ロゼシアター中ホール

開場 18:00

開演 18:30



劇団民芸公演

グレイ クリスマス

作 斎藤 憐

演出 丹野郁弓

出演

千葉茂則

中地美佐子

本廣真吾

岩谷優志

神保有輝美

吉田陽子

みやざこ夏穂

塩田泰久

神 敏将

吉岡扶敏

大中耀洋

船坂博子

飯野 遠

野田香保里

境 賢一

平野 尚

岡山 甫

岡本健一(客演)

上演時間

2時間40分(休憩含む)

敗戦の年のクリスマス。進駐軍の将校クラブに母屋を接收され、離れに追いやられた五條伯爵家。天皇は人間になり、華族制度は廃止。路頭に迷って自殺を図る生活力のない当主の五條、戦犯裁判にかけられる弟、ヒロポン中毒の息子らの中で女たちはたくましく、後妻の華子と弟の妻・慶子は、将校クラブのホステスを引きうけた。不穏な動きを見せる閨屋の権堂や、日系二世の軍人ジョージ・イトウが出入りする離れではにぎやかな宴が始まっている。

ジョージの説くデモクラシーの理想に胸をときめかし、愛をふくらませてゆく華子。娘・雅子(神保有輝美)は、なぜか権堂に魅かれてゆく。やがてアメリカの占領政策がかわり、朝鮮戦争がはじまる。特需景気で旧勢力が息をふきかえし、五條の弟は政界に復帰、息子は警察予備隊に。そして翌年、戦死したジョージから、思い出のオルゴールが華子のもとに届くのだった……。

重要なお知らせ

- ・会費納入 2月会費 1月25日(火)～ 2月4日(金)
3月会費 2月24日(木)～ 3月4日(金)
- ・退会締切 1月28日(金)
- ・シール配券
『グレイクリスマス』 3月24日(木)～4月1日(金)

『グレイクリスマス』担当サークル

カトレアの会・BIBA!・四季の会・蓼の会・キラキラ星
ミルフィーユ・すうのいえ・すうのいえ2・池田サークル
あけびの実・カンバラ会

- ★ 例会翌日は、事務局は休みです。
- ★ 毎月の会費納入は、基本的には
月末の25日～月初め5日です。
※例会等の関係で変更になることがあります。
- ★ 例会運営サークルの集いの日程は、担当の
サークルリーダーにお知らせします。
- ★ 退会する場合は、退会締切り日までに
手帳裏表紙の退会届に必要事項を記入の上、
事務局へ提出して下さい。
※電話やFAX、郵送での退会受付はできません。
※入会1年未満の方と退会締切り日後の退会は
認められません。ご了承ください。

【事務局からのお願い】

不要になったハガキや切手がございましたら、例会会場、または、事務局にお持ちいただけると大変助かります。それぞれ未使用であればどんなに古いものでも結構です。

富士山演劇鑑賞会

富士市元町12-26 田中ビル101号
TEL 0545-63-9201 FAX 0545-62-1687
Eメール fj_simingekijou@ab.thn.ne.jp
http://web.thn.jp/ fj_simingekijou/
ホームページ [富士山演劇鑑賞会] で **検索**

観劇のマナーを守って 楽しく「かんげき」しましょう

- ・携帯電話の電源は切りましょう
- ・開幕前は静かに待ちましょう
- ・お話は上演終了後にゆっくりと
- ・客席での飲食はできません